

世田谷クリーン通信

2020年1月28日

～第11号～



新年を迎えての第1号です。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年一年を振り返ると、海洋プラスチックごみ、大阪サミット、台風被害、気候変動対策への若者の抗議行動、食品ロス削減法施行、SDGs…。環境問題の話題も多彩でした。とりわけ世田谷区としては、多摩川流域の水害に遭い、今後の災害対策が一層大きな課題となりました。気候を取り巻く変化を肌で感じ、通信第9号発行の際の情報収集からも、今後も同じ規模の台風が来るのではないかと危機感を強くもちました。

一方、旭化成(株)の吉野彰さんがノーベル化学賞を受賞されたことや、全日本ラグビーチームの活躍、流行語大賞“ワンチーム”は、明るい笑顔をもたらしました。今年はいよいよオリ・パラですね！

さて、今月は前号でお知らせしたとおり、11月に実施した「事業者のための3 days セミナー」についてご報告します。



特集 「3 days セミナー part2」

今年度のセミナーにも、お忙しい中、延べ120名以上の多くの方々にご参加いただきありがとうございました。今回、参加いただけなかった方々に、概要をご報告します。

1日目

関 莊一郎氏による最新の環境問題（特にこの1年の動き）、循環型社会形成における課題についての講演。

【キーワード】

- ・地球温暖化 ・廃プラスチック ・食品ロス
- ・SDGsとESG ・グリーンボンド
- ・環境省「2100年未来の天気予報」
- ・パリ協定 ・大阪サミット ・地域循環共生圏

2日目

百瀬 則子氏によるこれまでの事例紹介と世田谷地域循環共生社会を目指すことへの提案。

【キーワード】

- ・SDGs ・地域循環 ・パートナーシップ
- ・食品リサイクルループ ・排出事業者責任
- ・食品ロス、容器包装の発生抑制 ・適正な委託契約
- ・未来の子どもたちのために

3日目

関根 久仁子氏をファシリテーターとして迎え、異業種交流+ディスカッション。各社の事業とSDGsを照らし合わせ、今できていること、これから実行できそうなことを検討。世田谷地域循環、パートナーシップのあり方を意見交換。

【キーワード】

- ・SDGs ・地域循環 ・食品ロス ・ごみ減量
- ・環境省「2100年未来の天気予報」 ・パリ協定
- ・大阪サミット ・グリーンボンド ・地域循環共生

～アンケート結果より～

環境問題に関心のある方でも、SDGsの具体的な内容となると、今回初めて詳しく知ったという方もいらっしゃいました。SDGs、食品ロス、地域循環（この3つは3日間共通のキーワードでした）、地球温暖化、廃プラ、ESGなどキーワードがいくつもあります。 「いろいろな方向から、様々な解決策を提案できる可能性がある」との感触を得た方が多かったようでした。



【SDGs 演習シート】

仕事の中、自分の生活の中でもSDGs 見つけて書いてみましょう

SDGs マップを作ってみましょう。

17の目標の欄に、それぞれ関係のある①「仕事のこと」②「自分のこと」を書き入れてみましょう。どの目標に関心がありますか？思い浮かばないところは空欄でも結構です。

1 貧困の撲滅	2 気候変動の対策	3 健全な働き方	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 再生可能エネルギーを拡大しよう	8 豊かさをみんなに実感しよう	9 産業とイノベーションに力をかかろう	10 人や国を超えて公正で包摂的な成長を	11 持続可能な都市を創ろう	12 持続可能な消費と生産
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 公正で包摂的な社会を	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

SDGs 17の目標の詳細な内容や169のターゲットは（一社）中部SDGs推進センターの chubu-sdgs.com を参照してください

※百瀬講師より出題された課題です。3日目に演習を行いました。

〈演習方法〉

- ① 自分の業務において、1～17番のSDGsゴールに関わりのある仕事をリストアップしていく。付箋に書いて、貼り付けていくと効率的です。（思い当たらない場合はパスしてもよい。）
- ② 同じように、自分自身が仕事以外でも行っていることがあれば、リストアップしていく。
* 各職場での業務改善や自身の新たな発想力を養う上で役に立つのではないのでしょうか。ぜひ、研修等でお使いください。

3日目のグループディスカッションより

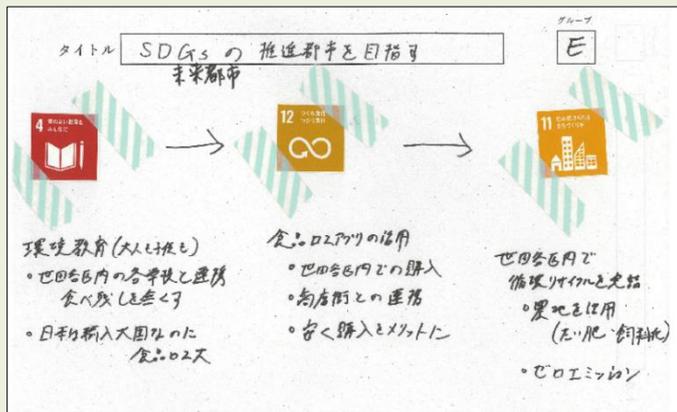
テーマは「世田谷区内の廃棄物を地域内で資源循環させる方法やアイデアについて考えてみよう!」。また、それがSDGsのどのゴールに関係するかも考えながらシートにまとめ、グループごとに発表していただきました。異業種6~7人同士の6つのグループから、40分という短時間の中で、それぞれ素晴らしい具体的なアイデアが飛び出しましたので、シートの一部をご紹介します。



食品を中心素材に、再生可能エネルギーの活用から廃棄物の再生資源化・地域内活用まで、それぞれの業種として貢献できる要素を盛り込んで、トータルに組み立てられたプランでした。調整や協力をうまく組み合わせれば、モデル的にでもできそうなアイデアで、事業のタイトルをSDGsとかけて捻出したところなども活発な話し合いがなされたことを物語っていました。

【メンバーの業種】

専門学校、コンビニエンスストア、外食、エネルギー機器取扱業、廃棄物処理業



環境教育(大人も子供も)を進めて普及啓発を促しながら、実際に商店街などと連携し、また手段としてアプリを活用しながら食品ロスを減らしていく。そして、廃棄物となるものは再生資源とし、世田谷区に残る農地で活用する。世田谷という地域性を考慮した実現可能なプランでした。実際に手掛けているメンバーの意見も有効のようでした。

【メンバーの業種】

大学、外食、ビル管理、園芸業、廃棄物処理業

そのほか、「ネガティブキャンペーン」として、スーパーで廃棄した食品の情報掲示など、消費者の意識改革を図ることも必要との意見も。

【来年度(3 daysセミナー最終年度)の予定】

このセミナーでは『地域循環』というテーマを大事にしてきました。この3か年事業の締め括りとして、令和2年度は地域に出て、イベント性のある事業を行いたいと考えています。これまでの経緯から、食品ロス・食品廃棄物を中心に、供給する事業者の立場から、消費者の意識への働きかけなどもあわせてwin×winな関係になれるよう、何らかの行動を示し、地域のみなさんにも一緒に考えていただく機会というコンセプトで企画します。時期は10月以降、場所は区内主要駅近辺、実行委員会方式で行いたいと考えていますので、協力、協賛して下さる事業者の方はぜひご連絡ください。

「ピンキー補強純粋ネ、正義病魔正気か、リーベパパ」

これ、何だかわかりますか。呪文みたいですが・・・。

実は、SDGsの17のゴールを覚えようと、無理矢理組み合わせをしてみました。

「ピン(①貧困)・キー(②飢餓)・補(③保健)・強(④教育)・純(⑤ジェンダー)・粋(⑥水・衛生)・ネ(⑦エネルギー)、正(⑧成長・雇用)・義(⑨技術・イノベーション)・病(⑩不平等)・魔(⑪まちづくり・都市)・正(⑫生産・消費)・気(⑬気候変動)・か(⑭海洋資源)、リー(⑮陸上資源)・ベ(⑯平和)・パパ(⑰パートナーシップ)」 高校時代に覚えた化学記号「スイハーリーベ・・・」を思い出しますね。ちょっと遊び心です。



Ich liebe dich!

編集後記

次号から、事業者の皆様が実際に行っている、また過去に行った「ごみ減量対策」の具体的事例を特集したいと考えています。小さなことでも構いません。「うちにもできるかもしれない。」と思っただけのような事例を紹介したいので、そのような事例をお寄せいただくと幸いです。(第11号担当)青山・小笠原